

学位論文 リポジトリ登録マニュアル

学位取得者(新潟生命歯学研究科)用

日本歯科大学生命歯学部図書館

2024. 12. 5 改訂版

目 次

1、学位論文リポジトリ登録の流れ	-1
2、学位論文リポジトリ登録マニュアル	-3
3、学協会・出版社の利用許諾 用語説明と投稿論文の流れ/公開の条件例/ 学協会・出版社の許諾例/許諾願いの書式/参考文献	-7
4、書類ほか	19
学位論文のインターネット公開許諾書	-19
学位論文のインターネット公開許諾書記入例	-20
電子ファイル例[学位論文電子ファイル見本]	21
日本歯科大学学術機関リポジトリ登録申請書	-23
日本歯科大学学術機関リポジトリ登録申請書記入例	-24
メタデータ	-25
メタデータ記入例	-26
日本歯科大学学術機関リポジトリ登録申請書変更届	-27

1.学位論文リポジトリ登録の流れ

はじめに

平成 25 年度から、学校教育法-学位規則の改正により「内容の要旨および審査結果の要旨」、「学位論文全文もしくはアブストラクト」をインターネット公表することとなりました。

インターネット公表のため本学では、日本歯科大学学術機関リポジトリ <https://ndu-rep.repo.nii.ac.jp> (以下リポジトリと略す)に学位論文を登録します。

権利関係に抵触するなど、やむを得ない事由により全文公開できない場合は、アブストラクトを公開します。

<内容の要旨および審査結果の要旨>

教務部・学生部から「内容の要旨および審査結果の要旨」の PDF ファイルを東京校図書館が受け取りリポジトリに公開します。

(学位授与者が登録申請書等を提出する必要はありません)

※授与された日より 3 カ月以内にインターネット公開

(学位規則 (昭和二十八年文部省令第九号) 第八条)

<学位論文全文もしくはアブストラクト>

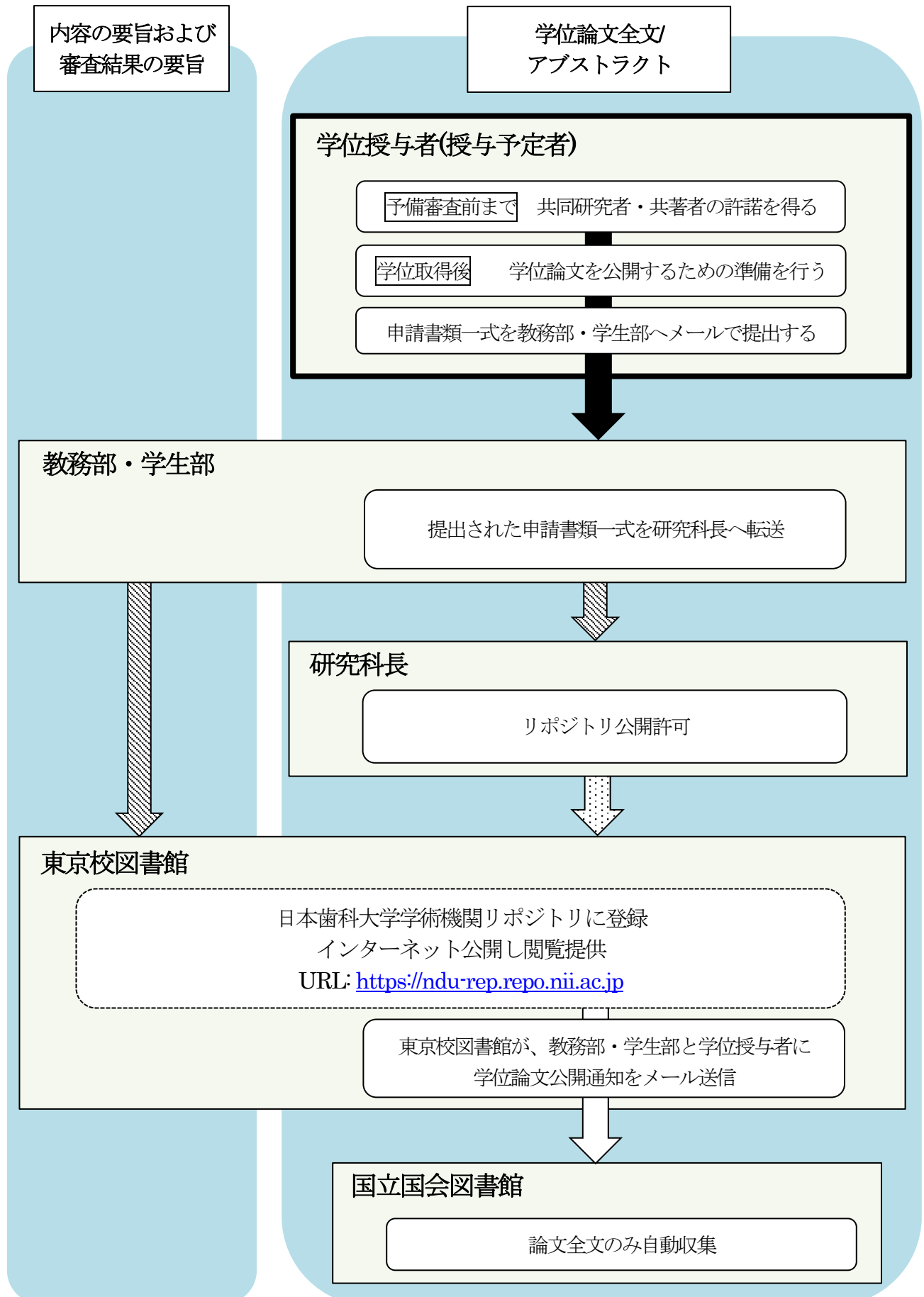
学位授与者が、リポジトリ登録関連書類を教務部・学生部に提出し、研究科長の下承を得たものを東京校図書館がリポジトリに公開します。

(学位授与者がリポジトリ登録申請書等を提出する必要があります)

※授与された日より 1 年以内にインターネット公開

(学位規則 (昭和二十八年文部省令第九号) 第九条)

1. 学位論文リポジトリ登録の流れ



(1) 共同研究者・共著者の許諾を得る

予備審査までに、共同研究者・共著者全員から学位論文のインターネット公開許諾を得て、「学位論文のインターネット公開許諾書」に署名押印し、教務部・学生部へ提出します。(記入例:P.20)

※2023年度以前に学位を取得された方は、P.5のQ&A-1を参照ください

(2) 学位論文をインターネット公開するための準備

学位を授与された日より1年以内に、以下の手順で学位論文をインターネット公開するための準備をしてください。

1 全文公開可否の確認

インターネット公開にあたっては、著作権の遵守・個人情報の保護などに注意が必要です。権利関係(著作権、個人情報、特許等)に問題が無いか確認し、「やむを得ない事由」により全文公開できない場合はアブストラクトを公開します。

※「やむを得ない事由」についてはP.5のQ&A-3を参照ください。

2 学協会・出版社等からリポジトリ掲載許可を得る

多重投稿や著作権侵害を防止する上で、雑誌投稿をした論文のリポジトリ登録には学協会・出版社の許諾が必要です。投稿先のアクセプトが決まっている場合は、「3 学協会・出版社の利用許諾」(P.7～)を参考に、リポジトリ掲載許可の確認をお願いします。

(P.17に、学協会・出版社への許諾願メール例があります)

3 リポジトリ登録申請書をダウンロードし必要事項を記入

日本歯科大学機関リポジトリホームページの「学位論文について」

(<https://ndu-rep.repo.nii.ac.jp/page/68>)からリポジトリ登録申請書とメタデータ記入用紙をダウンロードし、必要事項を入力ください。

4 全文もしくはアブストラクトPDFを用意する

上記1、2(権利関係や学協会・出版社の許諾)に問題が無く、全文公開可能な場合は全文PDFを用意します。やむを得ない事由等により全文公開不可の場合はアブストラクトをリポジトリ公開しますので、アブストラクトPDFを用意します。

(3) 教務部・学生部への提出物

インターネット公開の準備が整いましたら、以下①～④を教務部・学生部へメールで提出ください。(授与された日から1年以内)

① 学位論文全文もしくはアブストラクト (PDF 形式)

以下の規格で作成した PDF ファイルを提出ください

- ・ A4 版
- ・ 1 段組、論文末に参考文献、画像と説明文の順で掲載
[参考:「博士(歯学)学位論文作成の手引」(P. 21)]

PDF 作成の際の注意事項は P. 6 の Q&A-9 参照

② 日本歯科大学学術機関リポジトリ登録申請書 (Word 形式)

P. 24 の記入例を参考に入力し、Word ファイルを提出ください

③ メタデータ (Word 形式)

メタデータは学位論文の電子ファイルを効率的に管理、検索を行うために必要となるデータです。P. 26 の記入例を参考に入力し Word ファイルを提出ください

④ 学協会・出版社の許諾書の写し (PDF 形式)

学協会・出版社等からの「リポジトリ公開許諾書」や「契約書(リポジトリ公開に関する記載がある部分)」などを PDF 化したものを提出ください
もしくは、学協会・出版社等にメールで問い合わせをして許諾を得た場合は、そのメールやり取りを PDF 化して提出ください



提出先 (メール送信先): kyoumu@ngt.ndu.ac.jp

メールの件名: リポジトリ登録申請 (所属・氏名)

(4) よくある質問 (Q & A)

1. 共同研究者・共著者の許諾はどのようにしたら良いでしょうか

2024 年度以降に学位を取得された方は、予備審査の際にインターネット公開許諾を得て、そこで許諾書を提出いただいていますので、リポジトリ公開時に改めて許諾を得る必要はありません。

2023 年度以前に学位を取得された方は、共同研究者・共著者全員からインターネット公開の許諾を得ていただく必要があります。メールで共同研究者・共著者に「学位論文をリポジトリ掲載（インターネット公開）する旨」を連絡し、許諾を得て、そのやり取りしたメールを PDF 化したものを申請書類一式とともに教務部・学生部へ提出ください。

2. 共同研究者・共著者の一人に(死亡等により)許諾を得られない場合はどうしたら良いでしょうか？

指導教員、研究科長にご相談ください。

3. 「やむを得ない事由」とはどういった場合ですか？

「学位規則の一部を改正する省令の施行等について（通知）」（平成 25 年 3 月 11 日）には以下が例示されています。

- 1 博士論文が、立体形状による表現を含む等の理由により、インターネットの利用により公表することができない内容を含む場合
- 2 博士論文が、著作権保護、個人情報保護等の理由により、博士の学位を授与された日から 1 年を超えてインターネットの利用により公表することができない内容を含む場合
- 3 出版刊行、多重公表を禁止する学術ジャーナルへの掲載、特許の申請等との関係で、インターネットの利用による博士論文の全文の公表により博士の学位を授与された者にとって明らかな不利益が、博士の学位を授与された日から 1 年を超えて生じる場合

4. 学位論文と雑誌掲載論文のタイトルが異なる場合はどちらを記載しますか？

リポジトリ登録の対象は学位論文のタイトルです。

5. 正誤表がある場合どうしますか？

正誤表は、研究科委員会で審査・了承を得たものをリポジトリに登録します。図書館では、学位取得者から直接正誤表を受け取りません。教務経由のみを受け取ります。指導教員、研究科長にご相談下さい。

2. 学位論文リポジトリ登録マニュアル

6. 雑誌発表後の論文を学位審査し、その時点で訂正がある場合どうしますか？
最終的には日本歯科大学の学位論文としてリポジトリ登録を行うこととなりますので、最終修正された内容で、本審査で承認された学位論文の PDF を提出します。不明な点は、指導教員、研究科長にご相談下さい。
7. 複数の雑誌に掲載された論文が学位論文となった場合はどうしたら良いでしょうか？
掲載先それぞれの学会・出版社の許諾を得る必要があります。一箇所でも許諾を得ることができない場合は、アブストラクトの登録となります。
8. 登録申請書提出後に変更がある場合どうしたら良いでしょうか？
「日本歯科大学学術機関リポジトリ登録申請書変更届」と「書き直した登録申請書」を再度教務部・学生部に提出します。
9. 全文もしくはアブストラクト PDF を作成する際の注意点はありますか？
全文検索を可能とするため、スキャンしたものではなく Acrobat、Microsoft Office などを利用して PDF 化してください。Cube PDF（無料アプリ）でも PDF 化が可能です。 *Cube PDF: http://www.cube-soft.jp/cubepdf/ [PDF 化にあたっての注意事項] <ul style="list-style-type: none">・機種あるいはベンダー依存の形式でないこと・外部情報源（外部フォント等）を参照していないこと・暗号化・パスワードの設定・印刷制限等は行わないこと
10. リポジトリに登録したものは国立国会図書館でも閲覧ができると聞きましたが、すべてのデータが収集されるのでしょうか？
国立国会図書館では、平成 25 年の学校教育法-学位規則改正に伴い機関リポジトリから全文公開をしている学位論文を自動収集しています。本学のリポジトリ登録される学位論文全文もその対象です。アブストラクトのみ公開のものは収集されません。

*リポジトリ登録の事務的処理については図書館に、論文訂正など内容に関わることやリポジトリ登録の可否については指導教員、研究科長にご相談下さい。

3.学協会・出版社の利用許諾

日本歯科大学学術機関リポジトリ登録するにあたり、投稿先学協会・出版社の許諾が必要です。許諾を得たという証拠のため、ご自身の契約書、投稿規定、著作権譲渡書、許諾書など許諾に関する書類のコピーの提出をお願いします。

リポジトリ登録(セルフ・アーカイヴィング)については、投稿規定(instructions for authors)、著作権譲渡書(CTAなど)で規定されている場合や、学協会・出版社のホームページに掲載されていることもあります。また、学協会・出版社のセルフ・アーカイヴィングに関する著作権ポリシーを集めたデータベース、「SHERPA/RoMEO」(海外)・「学協会著作権ポリシーデータベース」(日本)で許諾について調査できますが、**必ず学協会・出版社にも確認してください。**

許諾に関してわからない場合は直接投稿先へ問い合わせるか、または、図書館へお問い合わせください。投稿先の学協会・出版社への問い合わせを図書館でも支援いたします。

連絡先: 〒102-8159

東京都千代田区富士見 1-9-20

日本歯科大学生命歯学部図書館 学位論文係

TEL: 03-3261-8931 FAX: 03-3238-1289

Email: library@tky.ndu.ac.jp

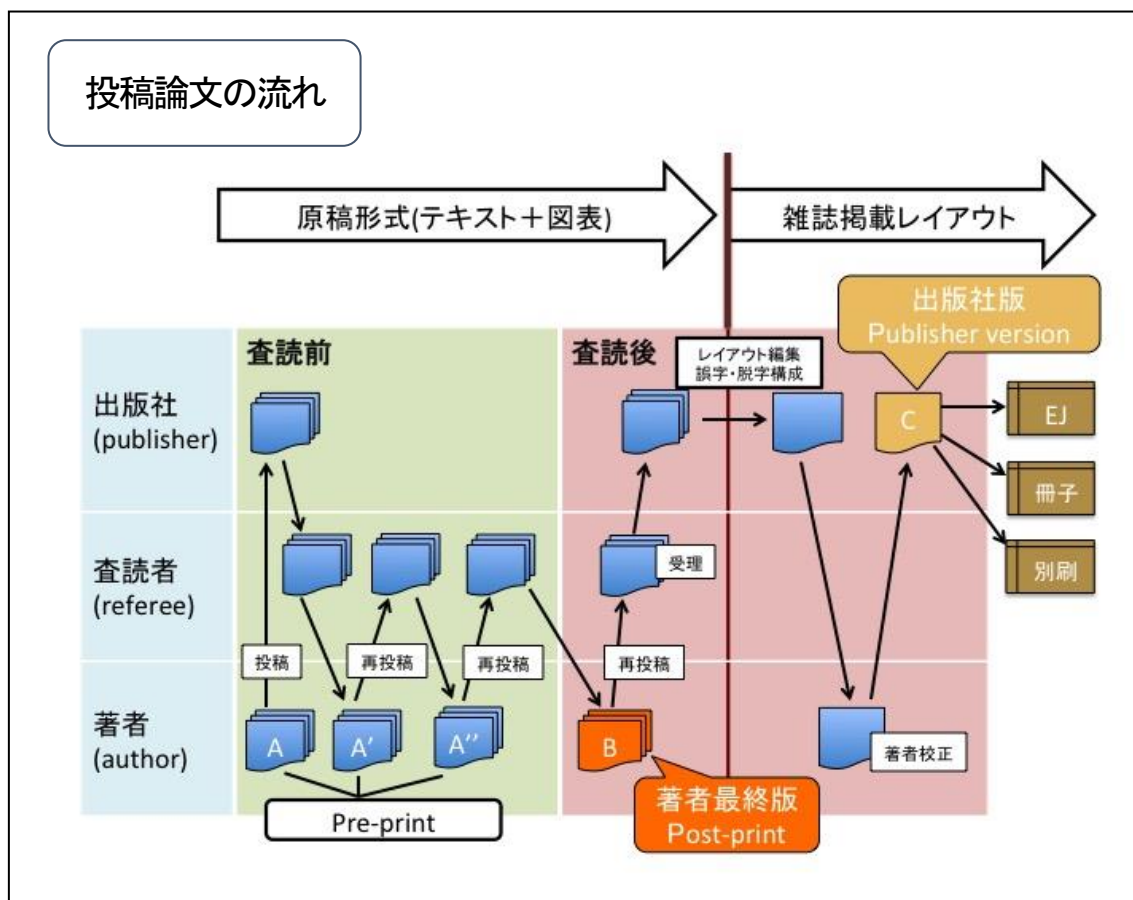
内容

- 1) 用語と投稿論文の流れ
- 2) 公開条件の例
- 3) 学協会・出版社の許諾例
 1. Odontology
 2. 日本歯科理工学会誌
- 4) 許諾願いの書式
 1. 論文投稿するにあたっての許諾
 2. 許諾願いを出す場合 英文例
- 5) 参考文献

1) 用語と投稿論文の流れ

用語

- ・セルフ・アーカイヴィング(self-archiving): 著者自身の論文を機関リポジトリや個人のサーバなどを利用して無償で公開するもの
- ・著作権譲渡書: Copyright transfer statement
- ・著者版(author version): 雑誌に掲載される前の、著者の手元にある版
- ・著者最終版(final version/final draft): 雑誌に掲載される直前の著者の手元にある最終の版
- ・出版社版(publisher version): 雑誌に掲載された(レイアウトも整えられた)版。PDF版
- ・査読前(pre-print/pre-refereeing):
- ・査読後(post-print/post-refereeing):
- ・査読後著者最終版(final draft post-refereeing):
- ・エンバーゴ(embargo): 無償で公開できない一定期間。猶予期間
- ・著者校正前(uncorrected proof): 雑誌用のレイアウト修正はされているが、著者の校正前。Proof=校正ゲラ
- ・著者校正済(corrected proof)



3.学協会・出版社の利用許諾

2) 公開の条件例

学協会・出版社によって異なります。以下は、出版社がリポジトリ登録での公開するにあたっての条件の例です。

版指定(リポジトリ登録時の原稿状態)

- 査読前の原稿を使用すること(投稿論文の流れ-A)
- 受理時に提供する専用のリプリントを使用すること
- 著者最終版を使用すること(投稿論文の流れ-B)
- 著者最終原稿に校正時の修正を加えて使用すること
- Publisher version/PDFは許可しない (通常、雑誌掲載用にレイアウトされたものは許可されず、著者最終版までを許可することが多い。)

出典・著作権表示

- 出典を明記すること
- DOIを表示すること
- 雑誌ホームページにリンクすること
- 既定の著作権表示を追加すること

エンバーゴ(猶予期間)

- 雑誌公開後、〇〇月後にリポジトリで公開可能とする
- 論文の受理後、〇〇月後にリポジトリで公開可能とする
- 著者版は即時リポジトリ公開可。出版社版は雑誌公開後、〇〇月後にCC BYになる。(CC BY: クリエイティブ・コモンズ・ライセンス)

3.学協会・出版社の利用許諾

3) 学協会・出版社の許諾例

1. Odontology (<http://link.springer.com/journal/10266>)
「Odontology」のホームページを開き右の項目欄にある「About This Journal」→「Open Choice-Your Way to Open Access」→「Author's Rights」の順で開きます。「Author's Rights」にSelf-archiving policyを記載。

Springer Link

Search

Home • Contact Us

Browse Volumes & Issues

Search within this journal

Odontology

ISSN: 1618-1247 (Print) 1618-1255 (Online)

This journal was previously published under other titles ([view Journal History](#))

Description

The Journal Odontology covers all disciplines involved in the fields of dentistry and craniofacial research, including molecular studies related to oral health and disease. Peer-reviewed articles cover topics ranging from research on human dental pulp, to comparisons of analgesics in surgery, to analysis of biofilm properties of dental plaque.

Odontology is the official Journal of the Society of the Nippon Dental University.

17 Volumes | 24 Issues | 407 Articles | 1997-2015 Available between

Other actions

- Register for Journal Updates
- About This Journal

About this journal

Open Choice - Your Way to Open Access

Dentistry Home > Medicine > Dentistry

SUBDISCIPLINES JOURNALS BOOKS SERIES TEXTBOOKS REFERENCE WORKS

Odontology

Official Journal of the Society of the Nippon Dental University
Editor-in-Chief: Makoto Tsuchimochi
ISSN: 1618-1247 (print version)
ISSN: 1618-1255 (electronic version)
Journal no. 10266

RECOMMEND TO LIBRARIAN

Like 30 Tweet 1 +1 0

Read Online

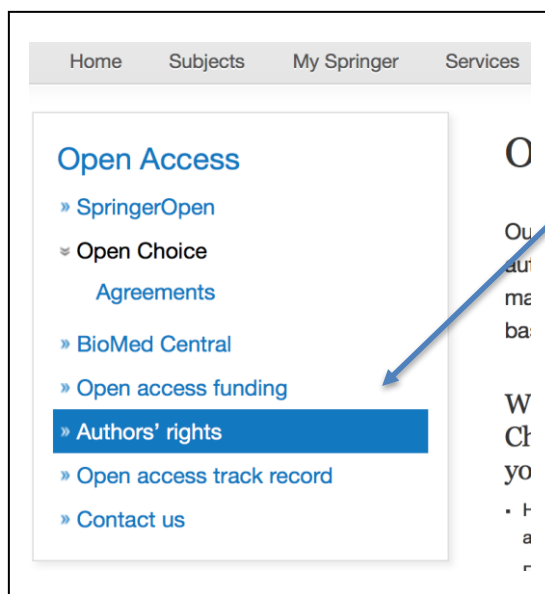
READ THIS JOURNAL ON SPRINGERLINK

- All volumes & issues
- Free: Sample Articles

FOR AUTHORS AND EDITORS

2013 Impact Factor 1.354

- Aims and Scope
- Submit Online
- Open Choice - Your Way to Open Access
- Instructions for Authors
- Certification Form (pdf, 73 kB)



Authors' rights

Author' s Rights at Springer

Authors' rights at Springer

Springer fully understands that access to your work is important to you and to the sponsors of your research. We are listed as a green publisher in the SHERPA/RoMEO database, as we allow self-archiving, but most importantly we are fully transparent about your rights.

When publishing your research traditionally in a subscription-based journal certain rights remain with you the author of the article. Your rights are determined in Springer's self-archiving policy.

- » [Self-Archiving Policy](#)
- » [SHERPA/RoMEO](#)

Funder compliance

Our open access options allow you to easily comply with the open access requirements of your institution, government and funding body. If you are employed or funded by the National Institute of Health (NIH) the Wellcome Trust, Research Councils UK (RCUK) or Telethon, please find more detailed information below.

Self-Archiving Policy

Copyright Transfer Statement (著作権譲渡書)にサインすることによる権利が書かれています。

Self-archiving policy

Springer is a green publisher, as we allow self-archiving, but most importantly we are fully transparent about your rights.

Publishing in a subscription-based journal

By signing the Copyright Transfer Statement you still retain substantial rights, such as self-archiving:

"Authors may self-archive the author's accepted manuscript of their articles on their own websites. Authors may also deposit this version of the article in any repository, provided it is only made publicly available 12 months after official publication or later. He/ she may not use the publisher's version (the final article), which is posted on SpringerLink and other Springer websites, for the purpose of self-archiving or deposit. Furthermore, the author may only post his/her version provided acknowledgement is given to the original source of publication and a link is inserted to the published article on Springer's website. The link must be provided by inserting the DOI number of the article in the following sentence: "The final publication is available at Springer via [http://dx.doi.org/\[insert DOI\]](http://dx.doi.org/[insert DOI])".

Prior versions of the article published on non-commercial pre-print servers like arXiv.org can remain on these servers and/or can be updated with the author's accepted version. The final published version (in PDF or HTML/XML format) cannot be used for this purpose. Acknowledgement needs to be given to the final publication and a link should be inserted to the published article on Springer's website, by inserting the DOI number of the article in the following sentence: "The final publication is available at Springer via [http://dx.doi.org/\[insert DOI\]](http://dx.doi.org/[insert DOI])".

When publishing an article in a subscription journal, without open access, authors sign the Copyright Transfer Statement (CTS) which also details Springer's self-archiving policy.


» [CTS \(for information purposes only\) \(pdf, 213 kB\)](#)

Publishing open access

なお、著作権については、"Copyright information"にも詳しく書かれています。Springerの"Copyright information"の書き方は、多くの雑誌で共通していますので参考になります。

3.学協会・出版社の利用許諾

The screenshot shows the homepage of the journal 'Odontology'. The top navigation bar includes 'Dentistry', 'Home', 'Medicine', and 'Dentistry'. Below this is a secondary navigation bar with 'SUBDISCIPLINES', 'JOURNALS', 'BOOKS', 'SERIES', 'TEXTBOOKS', and 'REFERENCE WORKS'. The main content area features the journal's cover image, the title 'Odontology', and its official status as the journal of the Society of the Nippon Dental University. It also lists the Editor-in-Chief, Makoto Tsuchimochi, and the ISSN numbers for the print and electronic versions. A 'Read Online' button is prominently displayed. To the right, a sidebar titled 'READ THIS JOURNAL ON SPRINGERLINK' offers links to 'All volumes & issues' and 'Free: Sample Articles'. Below this, the 'FOR AUTHORS AND EDITORS' section lists various resources, including the '2013 Impact Factor' (1.354), 'Aims and Scope', 'Submit Online', 'Open Choice - Your Way to Open Access', 'Instructions for Authors', 'Certification Form (pdf, 73 kB)', 'Disclosure of Potential Conflicts of Int...', 'Instructions for Authors (pdf, 253 kB)', 'English Language Editing', 'Submission information', 'Author Academy: Training for Authors', and 'Copyright information'. A 'RECOMMEND TO LIBRARIAN' button and social media sharing options (Like, Tweet, G+) are also present. A 'Copyright information' pop-up window is open, displaying the submission guidelines for authors, which include details on manuscript submission, copyright assignment, and the requirement for original, unpublished work.

“FOR AUTHORS AND EDITORS” の  をクリックすると

“Copyright information” が表示されるので、それをクリック。

Copyright information には、多重投稿などの注意、著作権の譲渡およびその範囲、セルフアーカイブについての説明、プレプリント・博士論文、DOI の扱いについて記載されています。

3.学協会・出版社の利用許諾

以下は、SHERPA/RoMEO のデータベースを利用した場合です。

One journal found when searched for: odontology	
Journal:	Odontology (ISSN: 1618-1247, ESSN: 1618-1255)
RoMEO:	This is a RoMEO green journal
Paid OA:	A paid open access option is available for this journal.
Author's Pre-print:	✓ author can archive pre-print (ie pre-refereeing)
Author's Post-print:	✓ author can archive post-print (ie final draft post-refereeing)
Publisher's Version/PDF:	✗ author cannot archive publisher's version/PDF
General Conditions:	<ul style="list-style-type: none">• Author's pre-print on pre-print servers such as arXiv.org• Author's post-print on author's personal website immediately• Author's post-print on any open access repository after 12 months after publication• Publisher's version/PDF cannot be used• Published source must be acknowledged• Must link to publisher version• Set phrase to accompany link to published version (see policy)• Articles in some journals can be made Open Access on payment of additional charge
Mandated OA:	(Awaiting information)
Paid Open Access:	Open Choice
Copyright:	Self-archiving policy - Authors Rights - Funder Compliance
Updated:	16-May-2014 - Suggest an update for this record
Link to this page:	http://www.sherpa.ac.uk/romeo/issn/1618-1247/
Published by:	Springer Verlag (Germany) [Commercial Publisher] - Green Policies in RoMEO
For:	Society of the Nippon Dental University [Client Organisation] - Suggest to RoMEO
Guidance:	Please see the list of Publisher Categories in RoMEO for guidance on interpreting the priority of multiple publishers.
These summaries are for the journal's <i>default</i> policies, and changes or exceptions can often be negotiated by authors All information is correct to the best of our knowledge but should not be relied upon for legal advice.	

上記内容(抜粋)

RoMEO: This is a RoMEO **green** journal

Author's Pre-print: ✓ author **can** archive pre-print (ie pre-refereeing)

Author's Post-print: ✓ author **can** archive post-print (ie final draft post-refereeing)

Publisher's Version/PDF: ✗ author **cannot** archive publisher's version/PDF

General conditions(公開条件)

- Author's pre-print on pre-print servers such as arXiv.org
- Author's post-print on author's personal website immediately
- Author's post-print on any open access repository after 12 months after publication
- Publisher's version/PDF cannot be used
- Published source must be acknowledged
- Must link to publisher version
- Set phrase to accompany link to published version (see policy)
- Articles in some journals can be made Open Access on payment of additional charge

Copyright: [Self-archiving policy](#) - [Authors Rights](#) - [Funder Compliance](#)

出版社の著作権に関するホームページとリンクされているので**必ず読む必要があります**。

3.学協会・出版社の利用許諾

2. 日本歯科理工学会誌

日本歯科理工学会誌のホームページには、「リポジトリ収載許可書」が掲載されています。 (<http://www.jsdmd.jp/publication/ja.html>)

また、学協会著作権ポリシーデータベースからもアクセスが可能です。

学協会著作権ポリシーデータベースの検索結果

ポリシーの検索結果	
雑誌詳細情報	日本歯科理工学会誌
名称	日本歯科理工学会誌 ((旧)歯科材料・器械)
ISSN	18844421
NCID	AA12452694
言語	日本語
発行元学協会	一般社団法人日本歯科理工学会 ※この雑誌は、学協会ポリシーと同一のポリシーが適用されています
ポリシー	■ Blue (査読後論文のみ認める)
出版社版の利用	出版社版を利用可能です
公開場所	著作者個人のWebサイト 機関リポジトリ 研究資金助成機関のWebサイト 非営利電子論文アーカイブ
公開条件	権利表示を行うこと 出典表示を行うこと 事前に照会を行うこと
データ確認日	2013/09/03

- ・Blue journal (査読後論文のみ認める)
- ・公開条件に、「権利表示」、「出典表示」、「事前照会が必要」

3.学協会・出版社の利用許諾

4) 許諾願いの書式

1. 論文投稿するにあたっての許諾（セント・アンドリュース大学のEprintsリポジトリの著作権に関するページ）

I hereby transfer to [publisher or journal] all rights to sell or lease the text (on paper and online) of my paper [paper title]. I retain only the right to distribute it free for scholarly/scientific purposes, in particular the right to self-archive it publicly online on the Web.

（「わたしは、自著論文（〇〇〇〇）」のテキストを冊子版及び電子版で販売・リースするための全ての権利を〔〇〇〇〇社（または〇〇〇〇誌）〕に譲渡いたします。しかし、学術研究目的のために当論文を無料で配布するための権利，とりわけ当論文をウェブ上で公開するための権利については，これを保持します。）

3.学協会・出版社の利用許諾

2. 許諾願いを出す場合

《英文メール例①》

Dear Publisher,

Thank you for publishing our article. We hope to use our article as a thesis of ○○○. Our government requests us to make a thesis available online to the public, if permission is obtained by the publisher. If this is against your policy, please let us know. We need a proof that the publisher declined the online release of our article. If you set up an embargo for the online release by your journal, please let us know the term of embargo. Thank you.

Sincerely,

《英文手紙例②SHERPA 未掲載のため出版者に照会する場合の電子メール例》

Dear Sir/Madam,

One of our professors wants to register his article for our institutional repository, the Nippon Dental University Repository (<https://ndu-rep.repo.nii.ac.jp/>). He submitted us the author's (MS Word) version, peer-reviewed but not post-printed. We searched <http://www.sherpa.ac.uk/> for information, but can't find conditions or restrictions to archive his/her work. Please let me know how we can get permission.

<List of publications>

(書誌事項 掲載誌：/巻号ページ：/論題：/著者：/出版年：XXXX年)

(結句 Sincerely yours, / Yours sincerely /

Very truly yours,

差出人等)

3.学協会・出版社の利用許諾

5) 参考文献

大阪大学/筑波大学附属図書館

- ・機関リポジトリと著作権概論：平成24年度SCPJワークショップ

https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/pub/SCPJ_WS/H24SCPJ_Copyright_introduction.pdf

千葉大学

- ・《論文投稿するにあたっての許諾》

名古屋大学附属図書館ホームページ

- ・《電子メール例》・《手紙例》・《SHERPA未掲載のため出版者に照会する場合の電子メール例》
- ・《英文メール例》

https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/graduate/pdf/83f90848eab9d5cb92526748fa430da9546294ac.pdf
論文インターネット公開について(別紙6)(PDF)

学位論文のリポジトリ公開について

学位論文は学校教育法・学位規則により、学位を授与された日から1年以内に当該博士論文の全文をインターネット公開することになっています。

インターネット公開にあたり、共同研究者・共著者全員の許諾が必要なため以下に署名押印をお願いします。

学位論文のインターネット公開許諾書

年 月 日

氏 名 _____

上記学位論文の電子データについて「日本歯科大学機関リポジトリ」に登録し、インターネット公開することを許諾します。

許諾者氏名 _____ 印

許諾者氏名 _____ 印

許諾者氏名 _____ 印

許諾者氏名 _____ 印

許諾者氏名 _____ 印

許諾者氏名 _____ 印

記入例

学位論文のリポジトリ公開について

学位論文は学校教育法・学位規則により、学位を授与された日から1年以内に当該博士論文の全文をインターネット公開することになっています。

インターネット公開にあたり、共同研究者・共著者全員の許諾が必要なため以下に署名押印をお願いします。

<h2 style="margin: 0;">学位論文のインターネット公開許諾書</h2>		書類提出日を記入
●●●●年 ●月 ●日		
氏 名 <u>千代田 次郎</u>		学位授与予定者の 氏名を記入
上記学位論文の電子データについて「日本歯科大学機関リポジトリ」に登録し、インターネット公開することを許諾します。		
許諾者氏名	<u>浜浦 太郎</u>	印
許諾者氏名	<u>日齒 花子</u>	印
許諾者氏名	_____	印
許諾者氏名	_____	印
許諾者氏名	_____	印
許諾者氏名	_____	印
共同研究者・共著者 全員の署名と押印		

三歳児乳歯齲蝕と歯科保健要因
との関連性について

千代田次郎

Relationship between Caries Prevalence and
Factors Influencing Dental Health Care in 3-
year-old Children

Jirou CHIYODA

日本歯科大学大学院新潟生命歯学研究科生命歯学専攻

〇〇学系、 〇〇学分野 〇〇学

(指導：浜浦太郎教授)

The Nippon Dental University, Graduate School of Life Dentistry at Niigata

(Director: Prof. Tarou HAMAURA)

(2025 年 1 月)

日本歯科大学学術機関リポジトリ登録申請書

年 月 日

日本歯科大学生命歯学部図書館長 殿

私が執筆した学位論文の全文もしくはアブストラクトについて「日本歯科大学学術機関リポジトリ」を通してインターネット上に公開するため、以下のとおり申請します。

研究科(専攻)名		科目	
氏名		氏名ヨミ	
論文題名			
学位取得後の連絡先	TEL :	E-mail :	
学位授与年月日		指導教員名	

☐ 全文公開に関する権利関係に問題がありませんので、リポジトリ登録をお願いします。
 〈確認事項〉 ※以下の確認ができない場合は全文公開不可
☐ 学協会・出版社等の許諾を得ています(許諾書の写しを別途添付します)
☐ 共同研究者・共著者全員の許諾を得ています(学位審査時に許諾書を教務部・学生部へ提出済みです)

☐ 「やむを得ない事由」に該当するため、まずはアブストラクトのリポジトリ登録をお願いします。
 やむを得ない事由消滅後(公開可能日以降)に全文公表をお願いします。
 〈事由〉
☐ 学協会・出版社等より公開禁止期間(エンバーゴ)が設定されているため
☐ 特許・実用新案を申請予定のため
☐ その他()
 公開可能日: 年 月 日

☐ 「やむを得ない事由」に該当するため、全文公開できません。アブストラクトのリポジトリ登録をお願いします。
 〈事由〉
 ()

*申請書に記入いただいた事項は、目的以外の用途には使用いたしません。

*本申請書について不明点等がありましたら、生命歯学部図書館までご連絡ください。

(連絡先 TEL: 03-3261-8931 Mail: library@tky.ndu.ac.jp)

2024.10.1

記入例

日本歯科大学学術機関リポジトリ登録申請書

●●●●年 ●月 ●日

日本歯科大学生命歯学部図書館長 殿

私が執筆した学位論文の全文もしくはアブストラクトについて「日本歯科大学学術機関リポジトリ」を通してインターネット上に公開するため、以下のとおり申請します。

研究科(専攻)名	新潟生命歯学研究科	科目	歯科保存学
氏名	千代田 次郎	氏名ヨミ	チヨダ ジロウ
論文題名	口腔物質による骨芽細胞内でのカスパーゼ -8, -9 の発現とアポトーシス誘導		
学位取得後の連絡先	TEL : ●●●●	E-mail :	●●●●
学位授与年月日	●●●●年●月●日	指導教員名	浜浦 太郎

☒ 全文公開に関する権利関係に問題がありませんので、リポジトリ登録をお願いします

〈確認事項〉 ※以下の確認ができない場合は全文公開不可

☒ 学協会・出版社等の許諾を得ています(許諾書の写しを別途添付します)

☒ 共同研究者・共著者全員の許諾を得ています(学位審査時に許諾書を教務部・学生部へ提出済み)

全文公開が可能な場合はここにチェックします

☐ 「やむを得ない事由」に該当するため、まずはアブストラクトのリポジトリ登録をお願いします。

やむを得ない事由消滅後(公開可能日以降)に全文公表をお願いします。

〈事由〉

☐ 学協会・出版社等より公開禁止期間(エンバーゴ)が設定されているため

☐ 特許・実用新案を申請予定のため

☐ その他(

公開可能日: 年 月 日

「公開禁止期間が設定されている」「特許や実用新案申請中」などにより、即時公開できない場合、該当する事由にチェックし公開可能日を入力します

☐ 「やむを得ない事由」に該当するため、全文公開できません。アブストラクトのリポジトリ登録をお願いします。

〈事由〉

(

「やむを得ない事由」に該当し、「個人情報保護」や「出版社の許諾が得られない」などにより全文公開ができない場合はその事由を記入します

*申請書に記入いただいた事項は、目的以外の用途には使用いたしません。

*本申請書について不明点等がありましたら、生命歯学部図書館までご連絡ください。

(連絡先 TEL: 03-3261-8931 Mail: library@tky.ndu.ac.jp)

2024. 10. 1

記入例

メタデータ

論題	Oral malodorous compound causes caspase-8 and -9 mediated programmed cell death in osteoblasts.
キーワード	Halitosis, Osteoblasts, Caspase-8, Caspase-9, Apoptosis
掲載雑誌	<p>誌名: ●●●●●●●●●●</p> <p>年: ●●●● 卷: ● 号: ● 頁: ●●</p> <p>※学位論文と掲載雑誌で論題が異なる場合には、掲載雑誌の論題を記入する (掲載雑誌論題:)</p>
論文掲載先 URL	https://●●●●●●●●●●
備 考	

日本歯科大学学術機関リポジトリ登録申請書変更届

年 月 日

日本歯科大学生命歯学部図書館長 殿

研究科（専攻）名：_____

学位授与者名：_____

下記の通り変更のため、リポジトリ登録申請書を書き直して再提出いたします。

変更内容：

変更理由：

学位論文リポジトリ登録マニュアル 発行日

平成 26 年 2 月 28 日 第 1 回発行

平成 27 年 5 月 11 日 第 2 回発行

平成 27 年 5 月 13 日 第 3 回発行

平成 28 年 9 月 1 日 第 4 回発行

平成 31 年 2 月 13 日 第 5 回発行

令和元年 10 月 1 日 第 6 回発行

令和 6 年 12 月 5 日 第 7 回発行

第 4 回より 5 種作成

生命歯学研究科委員用

生命歯学研究科学位取得者用

新潟生命歯学研究科委員用

新潟生命歯学研究科学位取得者用

図書館員用